

3 果樹

1) 使用方法

作物名	薬剤名	備 考
りんご	ストップボール液剤 (ジクロロプロップ液剤)	<p><収穫前落果防止></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ホルモン剤のため所定の濃度、散布時期及び回数を厳守する。 ○ 他薬剤の混用は、薬害のおそれがあるので、単剤使用とする。 ○ ホルモン作用により果実の成熟が若干早まることがあるので注意する。 ○ 効果が発現するまで5～7日かかるので散布適期を逸さないよう注意する。 ○ 展着剤は加用しない。 ○ 本剤の使用回数は2回以内。
りんご (苗木)	ビーエー液剤 (ベンジアルミプリン液剤)	<p><側芽発生促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 薬剤は使用のつど調製し、当日中に使いきる。
りんご	ビーエー液剤 (ベンジアルミプリン液剤)	<p><高接1年枝側芽発生促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 薬剤は使用のつど調製し、当日中に使い切る。 ○ 本剤の使用回数は1回。
りんご	石灰硫黄合剤	<p><摘果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第1回散布は満開期(腋芽を除く中心花および側花の7～8割が開花した日)とし、第2回散布は前回より3～4日後に散布する。 ○ ミツバチを放飼している園では散布前に回収する。
りんご	エコーキー (ギ酸カルシウム水溶剤)	<p><摘果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本剤の総使用回数は2回以内。
りんご(ふじ) りんご(ふじを除く)	スマートフレッシュ タブ (1-メチルクロプロペンくん蒸剤)	<p><収穫果実の熟期抑制></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 処理は専門の業者に依頼する。 ○ 適用場所は倉庫等施設内。 ○ 処理時期が遅れると効果が劣る場合がある。
なし (王秋)	ストップボール液剤 (ジクロロプロップ液剤)	<p><収穫前落果防止></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本剤の使用回数は1回。 ○ その他の事項は、りんごの項に準ずる。
日本なし	ジベレリンペースト (ジベレリン塗布剤)	<p><新梢伸長促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全花除去した新梢基部に塗布のこと。 ○ 新梢基部塗布は1回以内。 <p><熟期促進及び果実肥大促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 熟期が促進することがあるので適期収穫に努める。 ○ 過剰塗布は薬害の原因となる。 ○ 果梗部塗布は1回以内。
ぶどう (サニールジュを除く巨峰系 4倍体品種) [無核栽培]	フルメット液剤 (ホルコルフエニロン液剤)	<p><着粒安定、果粒肥大促進、無種子化、花穂発育促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ジベレリン以外の薬剤との混用は避ける。 ○ ジベレリンに本剤を加用することにより無核果粒の肥大とともに、着粒も安定するが、果実が大きくなりすぎると着色の遅れや糖度の低下等品質への悪い影響を及ぼすおそれがあるので使用濃度、時期を守ること。調整した薬液は効果の低下のおそれがあるので調整当日に使い切ること。 ○ 危険物第4類アルコール類に属するので、火気には十分注意する。 ○ 本剤の使用回数は1回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内。
ぶどう(サニールジュ) [無核栽培]		<p><着粒安定、果粒肥大促進、無種子化、花穂発育促進、着粒密度低減></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本剤の使用回数は1回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内。
ぶどう(巨峰系 4倍体品種) [有核栽培]		<p><果粒肥大促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本剤の使用回数は1回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内。
ぶどう(2倍体 欧州系品種) [無核栽培]		<p><着粒安定、果粒肥大促進、無種子化、花穂発育促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本剤の使用回数は1回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内。

作物名	薬 剤 名	備 考
ぶどう (マスカット・オブ・アレキサンドリアを除く 2 倍体欧州系品種) [有核栽培]		<p><果粒肥大促進、花穂発育促進></p> <p>○ 本剤の使用回数は 1 回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内。</p>
ぶどう (マスカット・オブ・アレキサンドリアを除く 2 倍体欧州系品種) [有核栽培]	フルメット液剤 (ホルコロルフェニロン液剤)	<p><果粒肥大促進、花穂発育促進></p> <p>○ 本剤の使用回数は 1 回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内。</p>
ぶどう (ヒムロッド・シートレスを除く 2 倍体米国系品種) [無核栽培]	ジベレリン粉末 (ジベレリン糖剤)	<p><無種子化、果粒肥大促進></p> <p>○ 2 倍体米国系品種：マスカット・ベリー A、アーリースチューベン、キャンベル、スチューベン等</p> <p>○ 第 1 回目の処理のみでは種無しになっても果粒が小さく商品価値がないので、同じ房に開花前と開花後に必ず 2 回処理する。</p> <p>○ 本剤の使用回数は 2 回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計 4 回以内。</p>
ぶどう (キャンベル・アーリーを除く 2 倍体 米国系品種) [有核栽培]		<p><果粒肥大促進></p> <p>○ 本剤の使用回数は 1 回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内。</p>
ぶどう (キャンベル・アーリー) [有核栽培]		<p>○ <果房伸長促進> 本剤の使用回数は 1 回。</p> <p>○ <果粒肥大促進> 本剤の使用回数は 1 回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内。</p>
ぶどう (2 倍体 欧州系品種) [無核栽培]		<p><無種子化、果粒肥大促進></p> <p>○ 2 倍体欧州系品種：ロザリオ・ピエソコ、ロザキ、瀬戸ジャイアンツ、マリオ、アリサ、イリア、紫苑、ルーベル・マスカット、ロザリオ・ロッソ、シャインマスカット</p> <p>○ 第 1 回目の処理のみでは種無しになっても果粒が小さく商品価値がないので、同じ房に開花前と開花後に必ず 2 回処理する。</p> <p>○ 本剤の使用回数は 2 回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計 4 回以内。</p>
ぶどう (ヒロハフアルグを除く 2 倍体 欧州系品種) [有核栽培]		<p><果粒肥大促進></p> <p>○ 使用時期が早すぎると無核果混入のおそれがあるので、使用時期は守ること。</p> <p>○ 本剤の使用回数は 1 回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内。</p>
ぶどう (キングデラ、ハーシー・シートレス、BK シートレスを除く 3 倍体品種)		<p><着粒安定、果粒肥大促進></p> <p>○ 3 倍体品種：サマーブラック、美嶺、カガノパール、キングデラ、ハーシー・シートレス、BK シートレス</p> <p>本剤の使用回数は 2 回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計 4 回以内。</p>
ぶどう (キングデラ)		<p><着粒安定、果粒肥大促進></p> <p>○ 本剤の使用回数は 2 回。</p>
ぶどう (ハーシー・シートレス)		<p><着粒安定、果粒肥大促進></p> <p>○ 本剤の使用回数は 1 回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内。</p>
ぶどう (サニール・ジュを除く 巨峰系 4 倍体品種) [無核栽培]		<p><無種子化、果粒肥大促進></p> <p>○ 巨峰系 4 倍体品種には、基本的に満開期の第 1 回目処理で無種子化を図り、満開 10～15 日後の第 2 回目処理で果粒肥大を促進するジベレリン 2 回の体系処理が適用される。しかし、巨峰の特性を受け継いでいる度合いに品種間で差異がみられるので、下記以外の品種に本剤を初めて使用する場合は、最寄りの指導機関の指導を受けるか、自ら事前に薬効薬害を確認した上で使用すること。</p> <p>○ 巨峰系 4 倍体品種：巨峰、ピオネ、安芸クイーン、翠峰、サニール・ジュ、藤稔、高妻、白峰、ゴルビー、多摩ゆたか、紫玉、黒王、紅義、シナマイル、ハイバー、オロブブラック(あづましづく等の巨峰系 4 倍体シートレス品種は該当しない)</p> <p>樹勢が健全か、強い方が安定した効果が得られるので、樹勢はやや強めに維持する。</p> <p>○ 本剤処理により、無種子化及び果粒肥大が促進され、着粒も安定するが、果梗が硬化し脱粒しやすくなるので、ジベレリン処理前の整房は不可欠である。処理前に上部支梗を切除し、下部 3.5～4 cm 程度に切り込み密着ぎみに房をつくる。ただし、果房が過密着になると裂果発生のおそれがあるので、必要に応じて適宜摘粒し、裂果を未然に防ぐとともに、裂果があれば取り除く。</p> <p>○ 本剤の使用回数は 2 回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計 4 回以内。</p> <p>○ 本剤の使用回数は 1 回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内。</p>
		<p><無種子化、果粒肥大促進></p> <p>○ 本剤の使用回数は 1 回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計 2 回以内。</p>
		<p>○ <果房伸長促進> 本剤の使用回数は 1 回。</p>

作物名	薬剤名	備考
ぶどう (サニールージュ) [無核栽培]	ジベレリン粉末 (ジベレリン水剤)	<無種子化、果粒肥大促進> ○ 本剤の使用回数は2回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内。 ○ 本剤の使用回数は1回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内。
		<果房伸長促進> ○ 本剤の使用回数は1回。
		<着粒密度低減、果粒肥大促進> ○ 本剤の使用回数は2回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計4回以内。
ぶどう (高尾)		<果粒肥大促進> ○ 本剤の使用回数は1回。ただし降雨等により再処理を行う場合は合計2回以内。
ぶどう(巨峰) [施設栽培]	フラスター液剤 (メビコートクロッド液剤)	<着粒増加、新梢伸長抑制> ○ 本剤の使用回数は2回以内。
ぶどう(巨峰) [露地栽培]		
ぶどう (シャインマスカット)		<新梢伸長抑制> ○ 雨除け被覆施設でH型整枝かつ短梢せん定による栽培を行った場合に適用。 ○ 樹勢の弱い樹には使用しない。 ○ 本剤の使用回数は2回以内。
キウイフルーツ	フルメット液剤 (ホルコルフエニロン液剤)	<果実肥大促進> ○ 処理時期が早い場合は変形果の発生、生理落果の増加、過剰肥大に伴う糖度低下を生じる恐れがあるので注意する。 ○ 樹勢に応じた適正着果量を心がける。 ○ 連年施用時の樹勢に注意する。 ○ 薬液が均一に付着するようにていねいに処理する。また、処理後、棚の針金等をゆすり、過量の薬液を振り落すこと。 ○ 本剤の使用回数は1回。

【注意】表中の「使用回数」は各農薬（商品）ごとの使用回数の上限を示した。農薬使用に当たっては必ず農薬容器のラベルを確認し、有効成分ごとの総使用回数を遵守すること。
また、いずれの剤も、さらに詳細な使用上の注意点がある場合があるので、製品の説明書をよく読んで、間違いのない使用に努めること。